

はじめに



なぜなぜ探検隊と学ぼう

## 読解はかせ 社会編

この問題集を手にとってくださいました方々へ

勉強は一つの教科に限らず、一般常識も含めて広く学ぶのが一番いい学び方だと思います。この長文問題集『読解はかせ』は、そのような考えをもとに編集しました。

これまでの国語の問題集は、どちらかという内容が  
かた苦し／＼、入試の準備を想定したものがほとんどだったように思います。この教材には、みなさんが楽しく学び、いろいろなことに興味を持てるような、次のような  
特長があります。

### 本書の特長と使い方

(1) 『読解の公式』で問題を解くための知識を習得

本文に入る前の準備として、読解のヒントやコツをまとめています。

実際に問題を解くための基礎や、ステップアップのための知識を身につけます。

(2) 興味深いテーマを設けた本文

教科書には載らない史実の裏側や、今につながる世界の「なぜ？」を切り口とした興味深いテーマの数々で構成されています。テーマごとに新しい発見を得ながら、楽しく国語の読解力を身につけることができます。

(3) 巻末の『探検のカギ』で思考力を養う

問題が解けずにつまずいたとき、すぐに解答集を見ず、ヒントとなる『探検のカギ』を参考にしましょう。そうすることで、自分で考え抜く力を伸ばせます。

(4) 調べ学習でさらに知識を伸ばす

毎回、テーマに沿った『ことばの学習』と『調べよう』というコーナーを設けています。『ことばの学習』は予習用、『調べよう』は復習用として活用すると、さらに知識が深まり、効果的です。

(5) 理解を手助けするイラストが豊富

すべての題材には、内容に合ったイラストを配置。理解を補助の一助となります。



番号 表題

- 1 世界の中で、日本は狭い国？
- 2 海は誰のもの？
- 3 小さい島を水没から守れ
- 4 雨が多い沖縄が水不足になるのはなぜ？
- 5 日本海側に雪が多いのはなぜ？
- 6 日本の農産物は値段が高い？
- 7 もし、外国から食料が買えなくなったら？
- 8 日本人は昔から肉を食べていたのかな？
- 9 日本の漁獲量が世界でも上位なのはなぜ？
- 10 工業の発展がもたらしたもの
- 11 大昔には、大陸は一つにつながっていたって本当？
- 12 中国に一人っ子が多いのはなぜ？
- 13 インドの「カースト制度」ってどんなもの？
- 14 イスラム教徒は一か月断食するって本当？
- 15 ロシアが寒さによって得したこととは？
- 16 アラスカ州は高い買い物だった？
- 17 変わりゆく「緑の魔境」
- 18 アフリカに貧しい国が多いのはなぜ？
- 19 宝の山で、国民は幸せになったの？
- 20 南極圏に人が住まなかったのはなぜ？
- 21 大昔のごちそう

ことばの学習

- 「視界」「イメージ」「存在感」
- 「船」と「舟」の違い
- 「属する」「獲得」「防護」、「ボツンと」
- 「深刻」「由来」「統治」、熟語
- 「豪雪」「日常」「困難」、「せつ」と読む言葉
- 「単純」「品質」「対抗」、「物価」と「値段」の違い
- 「自給」「確保」「欧米化」、意味の似た言葉
- 「祖先」「加速」「消費」、「々」を使った言葉
- 「屈指」「繁殖」、ことわざ
- 「普及」「おしはむ」「認定」「阻止」、言い回し
- 「原動力」「理論」「隆起」、総画数
- 総画数、部首名
- 「細分化」「規制」「遂げる」、四字熟語
- 「なじみ」「聖地」「礼拝」、二字熟語
- 「征服」「奪い合う」「魅力」、漢字、意味の似た言葉
- 「勢力」「非難」「拠点」、短文作成
- 「魔境」「多種多様」「阻む」「委ねる」、同音異義語、熟語
- 「連行」「屈強」「根深い」、対義語
- 「支給」「出稼ぎ」「難民」、対義語
- 「派遣」「嚴重」「過酷」、
- 総画数・部首名、「住む」と「滞在する」の違い
- 「遺跡」「飢え」「推測」「過言」

調べよう

- 国の位置
- 大陸棚・排他的経済水域
- 東京都の島にある町と村
- 森林の働き
- 日本周辺の海流
- アメリカから輸入している農産物
- 食料自給率を上げるには
- 和牛の名産地
- 日本の主な漁港
- 大気汚染物質・環境アセスメント法
- 三大洋・六大陸
- 一人っ子政策の問題点
- IT産業
- イスラム教の創始者
- シベリア開発が進まなかった原因
- アラスカ州
- 熱帯雨林伐採が及ぼす影響
- アフリカの資源
- ナウル共和国が衰退した理由
- 南極と風邪
- 打製石器

ページ

- 48
- 46
- 44
- 42
- 40
- 38
- 36
- 34
- 32
- 30
- 28
- 26
- 24
- 22
- 20
- 18
- 16
- 14
- 12
- 10
- 8

22 文明はどんな場所に生まれたのかな？

23 「負の世界遺産」って、何？

24 日本人はどこから来たの？

25 灰の中で時が止まった都市

26 昔の旅はどんなもの？

27 遣唐使の船は安全だったの？

28 大仏は本当に国家を守ったの？

29 平安時代の貴族は風邪引きが多かった？

30 「一所懸命」は「一生懸命」と、どう違うの？

31 鎌倉時代の女性は強かった？

32 元との戦いで起きた奇跡とは？

33 鉄砲が伝わって、戦いはどう変わったの？

34 秀吉が刀狩令を出した目的は？

35 江戸幕府はどんなふうに関東を統制したの？

36 江戸幕府がオランダと貿易をしたのはなぜ？

37 おしゃれな王妃とフランス革命

38 なぜ外国に浮世絵がたくさん残されているの？

39 日本人は勉強が好き？

40 「ちよんまげ」が消えたのはなぜ？

41 明治時代になって、武士はどうなったの？

42 ノルマントン号事件に日本人が怒ったのはなぜ？

43 命のヒザ

44 わたしには夢がある

「探検のカギ」(トント集)

年表イラスト解説

「上昇」「有利」「加速度的」、熟語

「傑作」「偶像」「壊滅」、慣用句

「集落」「洞穴」「混在」、

「特徴」と「特長」と「特色」の違い

「美食」「色彩」「劣化」、意味の似た言葉

「標的」「背中合わせ」、同音異義語

「国際都市」「遭難」「危険をおかす」

「平穩」「工程」「汚染」、総画数

「敷地」「盆地」「だだっ広い」、「放し」とつく言葉

「比較的」「開拓」、「いざ」の用途

「政權」「動搖」「相統」

「王朝」「民族」「絶体絶命」、二字熟語

「威力」「評判」「騎馬」、対義語

「主君」「走破」「極楽往生」、地名

「統制」「秩序」「家臣」「周到」、短文作成

「援助」「宣教師」「制海権」「真意」、「布」と三字熟語

「リード」「愚行」「エスカレーター」「浪費」、部首名

「途方」「さることながら」「無造作」「極彩色」、

「書く」と「描く」の違い

「無償」「驚異的」「産業」

「開化」「率先」「風潮」、短文作成

「特權」「追いつち」「開拓」、部首名

「条約」「不服」「遺族」、対義語

「侵攻」「発給」「占領」、短文作成

「信条」「草案」「公民」「隔離」、漢字

四大文明の文字

ユダヤ人に対する大量虐殺

縄文土器と弥生土器の違い

古代ローマの遺跡

税としての調

遣唐使

天平文化

藤原氏

平家が反感を買った理由

北条政子の異名・武芸の種類

元の襲来が失敗した原因

鉄砲と種子島

秀吉が進めた政策

参勤交代制度のねらい

島原・天草一揆

マリー・アントワネットのあだ名

浮世絵の題材

江戸時代の学校

文明開化

明治時代の階級

治外法権ともう一つの権利

ユダヤ人を救ったドイツ人

連合国軍最高司令官

1

字数に決まりがあるときには  
どのように答えたらいいの？



ふつうは、八割以上で答えます。  
例えば、「二十字以内」だったら、「十六字以上」で答えます。  
しかし、「十字以内」のときは、六字で答えることもあるので、  
次のように覚えておきましょう。

公式

決められた字数 - 四字

2

「何字程度」や、「何字前後」という  
ときは、どのように答えたらいいの？



「程度」という問い方も、「前後」という問い方も、答え方は同じです。どちらも決められた字数の一分を引いた字数から、一分を足した字数までをだいたい目安にして答えます。  
例えば、「十字程度」や「十字前後」だったら、九字から十一字くらいで答えます。

公式

(決められた字数 - 決められた字数の十の位の数字) から  
(決められた字数 + 決められた字数の十の位の数字) まで

3

「文章中から抜き出さない」と、  
「文章中の言葉を使って答えなさい」というときの答え方の違いはあるの？



答え方の違いは、次の通りです。

- (1) 「抜き出さない」のときは、文章中からそのままの形で抜き出し答えます。
- (2) 「使って答えなさい」のときは、答えとなる文の材料を文章中から抜き出し、組み合わせたり省いたりして答えます。

どちらの場合も、本文中でひらがな書きのものはひらがなで、漢字で書かれているものは漢字で書くようにしましょう。また、句読点や記号などもそのまま書き写してください。ただし、「句読点は字数に含めない」という条件がある場合もあるので注意してください。

公式

「抜き出さない」はそのまま、原文通り貼り付ける。  
「使って答えなさい」は問題に合うように少し書きかえる。

# 12 ※1 中国に一人っ子が多いのはなぜ？

一時は人口が急増した中国ですが、その後、人口の多さが問題となってきました。

その問題に対応するため、政府が行った「思い切った取り組み」とは何だったのでしょうか。



◀ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし句読点も字数に数えます。

中国で生まれた人の多くが一人っ子なのは、いったいなぜなのでしょう。今の中国は、毛沢東という人によって、一九四九年に建国され、その頃の人口は約五億四千万人でした。彼は、国を豊かに、そして強くするために、農場や工場で働く人、戦場で戦う兵士がたくさん必要だと考えました。そこで、子どもをたくさん産むように、国民に命令したのです。その結果、人口はどんどん増えていきましたが、農地を広げ、水を確保して、食料を増産することは簡単なことではなく、食料不足が深刻になり、多くの人が飢え死にした時期もありました。

一九七九年には、人口は十億人に迫ろうとしていました。中国ができた頃に生まれた人たちが次々結婚し、その後一気に子どもが生まれることで、食料不足はより深刻になっていくことが予想されました。

そこで、政府は大きな方向転換を決定しました。人口の増加にブレーキをかけるために、子どもは夫婦一組につき一人しか認めないとする「一人っ子政策」を定めたのです。この政策により、二人目を産んだ場合、高い罰金を支払わせたり、賃金を減らしたりするなどの罰則が科せられました。そして、人口増加の速度をゆるめることに成功しました。

15

10

5

問1

毛沢東が、「子どもをたくさん産むように、国民に命令した」のはなぜですか。文章中から十五字で抜き出して答えなさい。


問2

中国では人口が増えることでどのような問題が起きましたか。文章の中から四字で抜き出して答えなさい。


問3

中国政府が人口増加をおさえるためにに行った「方向転換」とは何を指していますか。文章中から六字で抜き出して答えなさい。


問4

次の文章は、「少子高齢化」について説明したものです。( ) に当てはまる言葉を、文章中から抜き出して答えなさい。ただし、同じ番号には同じ言葉が入ります。

人口の多い年代が (①) になることで、(②) の人口が減り、また (③) 者の生活を支える (③) の人口が少なくなっていること。



止し、そうした問題を解決しようと動き始めました。

※1 中華人民共和國の略称。

※2 二〇二二年現在。

日本が少子高齢化に悩

んでいるように、約

十四億三千万人の人口を

抱える中国でも今、同じ

ような問題に直面してい

ます。国ができて七十年

以上がたち、人口の多い

年代が次々と高齢者の仲

間入りをしているため、

働く人の人口が減ってい

ます。そして、高齢者の

生活を支える若者の人口

は非常に少なくなってい

きます。それにより中国

では、一人っ子政策を廃

30

25

20

## ◆じぶんの学習

1. 次の漢字の総画数をノートに書きましょう。

- (1) 豊 (2) 医 (3) 賃

2. 次の漢字の部首名をノートに書きましょう。

- (1) 認 (2) 政

### 問5

―線部「中国で生まれた人の多くが一人っ子なのは、いったいなぜなのでしょうか」というような表現の文を、「問題提起の文」といいますが、この部分に対する筆者の答えが最もわかりやすく述べられている段落はどこですか。その段落の初めの三字を次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 今の中 イ 一九七 ウ そこで エ 日本が

③	②	①

## ◆調べよう

「一人っ子政策」により生じた問題について、調べてノートに書きましょう。

# 25 灰の中で時が止まった都市

イタリアに、千九百年以上も前の都市と人々の生活ぶりを、ほぼ完全な姿で今に伝える遺跡があります。  
なぜ遺跡はきれいな状態で保存されたのでしょうか。



◀ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし句読点も字数に数えます。

日本に稲作が伝わった頃、遠くイタリアでは小さな都市国家が次第に力をたくわえ、強大な帝国に成長していきました。それがローマ帝国です。周辺諸国を制圧したローマ帝国の人々は、浴場や劇場、闘技場などを娯楽の場とし、金持ちは美食に明け暮れました。そんな千九百年以上も前の人々の生活が、ほぼ完全な形で保存されている遺跡があります。

西暦七九年、南イタリアのヴェスヴィオ火山が巨大な火柱をあげ、大噴火を起こしました。三日間続いた大噴火によって、ローマ帝国の地方商業都市であったポンペイを始めとする十三の町や村には、大量の火山灰が降り注ぎました。さらにその翌朝には、高熱ガスと灰が混じった熱雲が襲いかかり、降り積もった火山灰は約六メートルにも達したそうです。噴火がおさまると、避難していた人々は戻ってきましたが、貴重品を掘り起こすのがやっとで、火山灰に埋もれた町や村はそのままにされ、やがて忘れ去られてしまったのです。

それから再び都市が発見されたのは、噴火後、およそ千七百年後のことです。その遺跡を発掘していくと、建造物や豊かな色彩の壁画ばかりではなく、食卓のパンや読みかけの本まで、噴火時の生活の様子がそのまま現れました。

15

10

5

### 問1

何が成長してローマ帝国ができたのですか。文章中から七字で抜き出して答えなさい。


### 問2

ヴェスヴィオ火山の大噴火によって発生したものを、文章中から六字と十三字で抜き出して答えなさい。

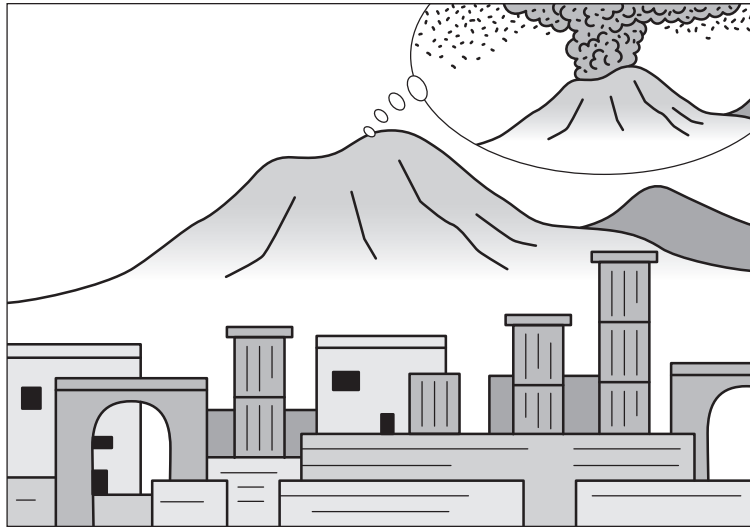


### 問3

ヴェスヴィオ火山が大噴火した当時の、人々の生活を詳しく知ることができたのはなぜですか。次の文の（ ）に当てはまる言葉を、文章中から二十字以内で抜き出して答えなさい。再び発見された都市の遺跡に（ ）から。


かま くら 鎌 倉	むろ まち 室 町	あ づち 安土 山 もも やま 桃 山	え 江 ど 戸	めい じ 明 治	たい しょう 大 正	しょう わ 昭 和	へい せい 平 成 れい わ 令 和

現在でも、ローマ帝国の建築技術の高さを伝える闘技場や神殿などはイタリア各地に残っていますが、当時の人々がどのような生活を送っていたのかまでは、はっきりとわかっていませんでした。ポンペイでは、一般の住宅がほぼ完璧な形で残っていたことによって、その生活ぶりを詳しく知ることができたのです。



きたのです。

灰に埋もれた地域は非常に広く、発掘は長期にわたって続けられ、約七割がその姿を現しました。しかし最近になって、発掘のペースを落としたり、新たな発掘を中断したりしています。なぜなら、灰の中にある間は、発掘された後、風雨や陽光にさらされて壁画の劣化などが進んでいったからです。また、観光客のマナーの悪さも劣化を加速させる要因となっているようです。

20

きたのです。

灰に埋もれた地域は非常に広く、発掘は長期にわたって続けられ、約七割がその姿を現しました。しかし最近になって、発掘のペースを落としたり、新たな発掘を中断したりしています。なぜなら、灰の中にある間は、発掘された後、風雨や陽光にさらされて壁画の劣化などが進んでいったからです。また、観光客のマナーの悪さも劣化を加速させる要因となっているようです。

30

きたのです。

35

## ◆ じつばの練習

- 次の言葉の意味を調べてノートに書きましょう。
  - 次の言葉と意味が似ている言葉を調べてノートに書きましょう。
- (1) 美 食                      (2) 色 彩                      (3) 劣 化
- (1) 制 圧                      (2) 明 け 暮 れ る

### 問 4

灰に埋もれた地域を具体的に説明している部分を文章中から三十五字以内で探し、初めと終わりの六字ずつを書きなさい。

初め						
終わり						








### 問 5

線部「ほぼ完全な形で保存されている」のはなぜですか。「から」に続くように、文章中の言葉を使って答えなさい。

から。

## ◆ 調べよう

古代ローマの遺跡で、現在のローマにあるものを調べてノートに書きましょう。

きゅうせつ き 旧石器	じょうもん 縄文	やよい 弥生	こふん 古墳	あすか 飛鳥	なら 奈良	へいあん 平安
						





# 探検のカギ

P. 8

## 1 世界の中で、日本は狭い国？

問1 すへ前「**そいつ**」という言葉を聞くと、「**そいつ**」表現があるのだから、その前の部分を**確認**します。

問2 すへ後「**要する**」という言葉を聞くと、「**そいつ**」表現があります。

問3 「狭い国」という言葉を探します。その後である「**例えば**」という表現が「**そいつ**」表現になります。

問4 第二段落で述べられています。形を表す言葉を探します。

問5 「狭い日本」のイメージは、この文の中心からきている「**そいつ**」表現があります。また、「**日本**」の国土の広さに対する印象を左右する事柄という表現も「**そいつ**」表現になります。

P. 10

## 2 海は誰のもの？

問1 「**パスポート**」という言葉は第一段落にあります。「**これがないと入国も**」も出てきます。「**そいつ**」表現が「**そいつ**」表現です。その前の部分を**確認**します。その前の部分で「**そいつ**」表現が「**そいつ**」表現になります。

問2 「**約三百年前**」という表現が「**そいつ**」表現です。これが『領海』です。この表現があります。その前の部分を**確認**します。①は「**大砲**」がどのようなものかを読み取ります。②は「**そいつ**」表現が「**そいつ**」表現になります。

問3 「**三海里**」という表現は第二段落で述べられています。「**範囲**」という言葉を手がかりに探します。

P. 12

## 3 小さい島を水没から守れ

問4 「領海を拡大したいと思う国が増えていきました」という表現があります。その前の「**そいつ**」という表現に注目しましょう。

問5 「領海が十二海里」と国際的に定められました」という表現があります。その前後で時を表す言葉を探しましょう。

問6 すへ前「**そいつ**」という表現に注目します。また、「**空らん**」という言葉は、空らんの前後の言葉が「**そいつ**」表現になります。

問1 ①は沖ノ島島の位置を表す表現を探します。「**そいつ**」の島です。この表現が「**そいつ**」表現です。②は「**そいつ**」に属しています。この表現が手がかりになります。

問2 (1) すへ前「**そいつ**」という表現があります。

(2) 「**この小さな島**」の権利が日本にもたらされた」という表現があります。

問3 「**そいつ**」政府は、島を守るため「**そいつ**」工事を行った」という表現があります。

問4 「**サンゴ礁**」内に灯台を設置する」という表現が最後の段落にあります。①②③は「**そいつ**」の意見をかわすため「**そいつ**」の意見「**そいつ**」の内容を**確認**しましょう。④は「**そいつ**」の権利を守ろう」という表現が「**そいつ**」表現です。

P. 14

## 4 雨が多い沖繩が水不足になるのはなぜ？

問1 「**そいつ**」地域で育ちます」とあります。

問2 「**沖繩**」の性質は「**そいつ**」という表現を探します。

問3 「**そいつ**」があまりとれない理由については、**第二段落**、**第四段落**で述べら

## 年表イラスト解説

※道具の用途などについては、ほかにも諸説があります。

### 旧石器 ナウマンゾウ

日本や中国大陸北部などに分布したゾウ。体高約三メートル。内側に向かって曲がった長い牙を持つ。北海道から九州まで、各地で化石が発見されている。名称は地質学者ナウマンにちなむ。

**縄文** 土偶(遮光器土偶・青森県亀ヶ岡遺跡出土)と土器(火炎土器・新潟県などで出土)土偶は農作物の豊作を祈る人形といわれている。土器は、鍋や皿、水さしの役割をしていた。使う目的によって形が異なる。土偶も土器も時代や地域によって様式はさまざまである。一般に東日本の土器は形や文様が複雑で、西日本の土器はシンプル。

**弥生** 銅鐸(聞く銅鐸・神戸市桜ヶ丘神丘出土)銅鐸は朝鮮半島から入ってきたもので、やがて弥生人が自分たちで作るようになる。始めは鈴のように鳴らして音を聞く小さなものだったが、次第に大きくなり、聞くものではなく、見るものになっていった。

**古墳** 埴輪(踊る人々・埼玉県熊谷市野原出土)埴輪は、王が埋葬された古墳の上に並べられた。小さい方が男性で、農夫を表すとされている。同じ古墳から儀式に参列する人物とみられる埴輪が出土しているため、葬式における踊りの姿ともみられている。

**飛鳥** 聖徳太子六世紀末、日本で豪族が対立していた時代に、聖徳太子は天皇を助ける摂政として、中国や朝鮮の制度に習った国づくりをめざした。天皇中心の強力な国家をつくるため、冠位十二階を定めて有能な人材を役人にしたり、十七条の憲法により役人の心得を説いた。また、中国に遣隋使を送り、国交を開いた。深く仏教を信仰し、たくさんの寺を建てた。

**奈良** 遣唐使は六三〇年〜八九四年に日本から唐(現在の中国)に向けて送られた使節団。目的は唐との友好を保ち、すぐれた唐の制度や文化を取り入れるとともに、東アジアの情報を得ることにあった。

**平安** 十二単

宮廷に仕える女性の正式な服装とされた。さまざまな色の着物を重ねて着ることで、美しさのセンスを競い合ったといわれる。

### 鎌倉 金剛力士像(阿行)

武士社会にふさわしい力強い仏像の代表。運慶や快慶ら仏師によってつくられた。奈良県の東大寺南大門にあるものが有名。

**室町** 土一揆(※「どいつき」ともいう)

農民や下級の武士たちが、荘園領主や守護大名などに対して起こした武力的反抗。年貢の軽減や借金棒引きなどを求めた。

**安土桃山** 織田信長が築いた安土城は、金や赤の飾りであふれた天主などがそびえ、その頃の常識を超えた城だった。以後の大名たちはそれを真似して、天守のある城は全国でつくられた。

**江戸** 大名行列三代将軍徳川家光が定めた参勤交代の制度により、大名は一年おきに江戸と自分の国で生活しなければならなかった。大名は参勤交代の度に、大名行列を組んで江戸と領地を行き来した。大名行列では、たくさんの武士が弓・鉄砲・やりなどの武器を持ち、その戦力を自慢した。

**明治** 蒸気機関車

西洋の技術や文化を取り入れた「文明開化」で、人々に大きな変化をもたらしたのが蒸気機関車(汽車)だった。人々は汽車に乗り、遠くまで行けるようになった。

**大正** 労働組合運動

政治・社会・文化でも大衆の力が重視されるようになった。社会運動が次々に起こるなか、労働者も労働団体をつくり、労働条件の改善を求めて争議を起こした。

**昭和** 新幹線

戦後、高度経済成長の時代となり、国民の生活は豊かになった。技術革新が進む中、東京オリンピック開催と同じ一九六四年に新幹線が開通した。

**平成** 令和

昭和に初めて開発されたコンピュータは巨大であったが、次第に小型のパーソナルコンピュータ(パソコン)が登場し、一九九〇年代半ばから右肩上がりに普及した。二〇〇〇年代前半には多くの職場や家庭に広まった。パソコンのような性質をもつ高性能携帯電話がスマートフォン(スマホ)。高速データ通信網が整備されたことで、二〇〇〇年代後半から爆発的に普及した。「スマート」は、かしこいという意味。